

<教育目標>

未来社会を担う子

- よく考え 表現する子
- ◎豊かな心をもつ子
- たくましく鍛える子

自ら未来を切り拓き、次代を担う児童の育成を目指すために、「知・徳・体」のバランスのとれた教育活動を推進し、グローバルな視点から自他のよさ、多様性を認め合える資質や能力を自ら育てていけるようにする。道徳教育の充実を柱として「豊かな心をもつ子」を今年度の重点目標とし、自ら自他のよさを大切にできるように児童の育ちを支えていく。

<目指す子ども像> 未来社会を担う子
～自他を大切に、共によりよく生きようとする児童～

<目指す学校像（教師像含）>
地域の風の行き交う学校～わたしたちの令和小

- ①「地域の風の行き交う学校～わたしたちの令和小」のより一層の浸透
- ②児童の内面の育ちを一層重視（見えにくいバックボーンまで見ようとする）
キーワード「自他を大切に＋自己肯定感」・「道徳教育＋『思いやり』」
- ③児童のよさと可能性を伸ばすかかわり→子どもの発想を生かした教育活動
- ④「学校や地域のことを考える学習」の日常化・共有化・財産化による特色化
- ⑤保護者、地域の方の参観から参加、そして参画へ～CSを意識したボランティア組織
- ⑥ねらいに基づいた学校行事等の精選とスリム化・コンパクト化、教職員の働き方改革
- ⑦教育活動推進のキーワード「全児童を全教職員で育てる視点」を重視
「地域の方、保護者の方と力を合わせて」～みんなで育てる令和の子

I 新校舎を生かす令和の特色～学びをつなげる

「知」・「徳」・「体」バランスよく関連づけた教育活動の推進

①様々な人と豊かにかかわり合い、自分で自分を育てる

「知」→よく考え 表現する子 学習をつなげる

・学習のきまりのよさの実感 ・授業の充実→一斉と選択

・学習の相互の関連→授業と家庭学習、AIドリル（ミライシード）、放課後学習等の連動

「徳」→豊かな心をもつ子

「思いやり」で人をつなげる

- ・人間関係と集団帰属
- ・道徳教育、人権教育推進（最重点「親切、思いやり」）
- ・校内研究→道徳教育 道徳授業の充実 行事、特活、道徳、各教科等の関連付け

「体」→たくましく鍛える子

遊びと運動をつなげる

- ・体育授業・体力向上旬間・休み時間遊び等のつながり
- ・自分の体を知る・生活リズム→運動量重視の体育学習

- ②受け継いだ教育活動の改善＋新たな発想で児童が創る教育活動
＋児童に「手柄」や「華」をもたせるかかわり（発想を生かす）
＋A Iドリル導入（タブレット配信）にマッチした取り組み
＋学校行事はねらいを意識し、若干のコンパクト化、スリム化も
＋新校舎のフル活用

Ⅱ 地域と双方向の交流を～地域、家庭とつながる

4つの町の中の学校・地域は屋根のない教室
地域の「ひと・もの・こと」との出会い、かかわり

- ①あいさつ・へんじ、あつまり、あとしまつ→どれも「思いやり」
～学校でも、地域でも、家庭でも
- ②地域防災会・町会の意識～当たり前前に守られていることへの意識
- ・登下校時の見守り支援
 - ・新1年生入学当初下校見守り支援（民生児童委員協議会）
 - ・どの子へも安全の支援、声掛けを
 - ・4つの町の地域行事への参加を
- ③連携教育推進～保幼小中連携教育 <役割を果たし、垣根を低く>
＋保護者、地域、児童館、PTAの皆様のお力添えを
- ・連携の力で1+1を2以上に（時には1+1を2に）
 - ・保護者会の工夫改善（できる限り、懇談の重視を）
- ④「学校や地域のことを考える学習」の活性化と日常化と維持
- ・様々な保護者ボランティア募集の予定
 - ・校外学習付き添い
 - ・保護者参加型学習
 - ・学年だより等での広報
 - ・日常的な実施
 - ・様々な人財（地域の方・おなじみ）の活用
 - ・学校支援ボランティアの組織を模索しています。（学校評議員会で）

Ⅲ 一人一人の子に限りない支援を

～その子への支援の輪を

2学期制の趣旨を十二分に生かした継続的な支援

① 「個」を生かす から 「個」が生きる へ

- ・全学年4人担任制、算数少人数指導等で、「よさ」の共有をします。全児童を全教職員で育てる視点を持ち、内面を大切にしながら、きめ細やかに接します。
- ・特別支援教育（前面掲示の工夫、座席の配慮、巡回指導 等）をどの子にも必要なことととらえ、推進します。 <学校生活支援シートを活用して個人面談も進めます。>
- ・2回の個人面談期間→個人面談7月、12月と2回の評価・評定→通知表10月、3月（4回の機会与生活・学習状況を詳しく伝え、目的意識を共有します。）
- ・指導と評価の一体化（教えたこと=分かったこと ではない）を推進します。
- ・区の拠点校改変で特別支援教室拠点校が1校増え、再編がありました。本校の特別支援教室の拠点校は桃園第二小学校になります。教室名はCOSMOS（コスモス）です。

②教育相談機能の充実

- ・年度初めは担任と言葉を交わし顔と名前が一致できるようにしたいものです。相談が必要な場合、相互に申し出をお願いします。 三者面談も必要に応じて活用します。
- ・12月の個人面談は、学校から、保護者からの相互の希望制です。また、相談は様々な立場の教職員と行うことができます。
- ・児童指導資料、保健調査カードにも必要なことの確実な記載をお願いします。
- ・教育相談室を週2回（木・金）開室しています。今年度から区採用のSC（スクールカウンセラー）が配置されます。相談は担当までご連絡ください。

③学校、家庭、地域それぞれの固有の役割の意識

- ・「個」が生きる ことは 「自分」も「人」も大切にすること
- ・児童の自立に向けた適切な支援～学校の役割 家庭の役割 地域の役割
- ・学校は・・・がまんするところ がんばるところ（我慢と努力）
- ・我慢と努力が自分のために、そしてみんなのために （ならぬものはならぬ）

学校は・・・

やりたくても やってはいけないことは やらないところ
やりたくなくても やらなければならないことは やるところ

◎教職員の働き方改革推進～子どもと向き合う時間を！

ボランティア等でのご協力に感謝
…教職員の在校時間はまだまだ改善には至っていない状況です…